

1. てるてる坊主のゼリーをとろう！
2. みんなで食事 おいしいね
3. クッキングの時間にスイートポテトに挑戦
4. 三河亭さんにて美味しいランチ

5. きれいな音色響かせます
6. 畑仕事の合間の休憩。斉田さんと小山さん
7. 散歩先での一コマ
8. 喫茶店で仲良くおやつタイム

9. いつもの仕事後の休憩(女子会)
10. かっこよく歩いているでしょ？！
11. ハサミ刈りで、新茶の収穫をしました！
12. 楽しく「ごんちゃんバッグ」に描く辻さん

13. 積み立て旅行で金沢21世紀美術館へ
14. いい年になりますように
15. 芸術祭で 漢枋下！
16. 給料日 今月もがんばったね

17. 真夏にひまわり畑へおでかけしました！
18. バーベキューで焼き役に徹する篠原さん
19. はいどうぞ！領収書です！
20. 事務室にて「トリックオアトリート♪」

21. 仕事は最後までやりきる！素敵な1枚
22. 芸術祭で艶姿に変身しました♡
23. フランクフルトくださいー♪
24. ジャム&ジャズパーティ、粥川なつ紀さんと♪

25. パラの香りを楽しみながら散歩です
26. 味噌カツ食べてリサイクルのお仕事がんばるぞ！
27. 手渡したびた便に入れる手書きメニューです
28. 二人でおしゃべり 楽しいね～

29. ボウリング大会！全部おすぞ！
30. ほとりで買い物をしたよ
31. アートフィールドへ「はい、チーズ！」
32. 1日仕事がんばったー！帰ります！

33. いちご狩り楽しかったね★
34. 片付け。みんなで押せば重くないよ！
35. 納品に行ってきます！
36. サツマイモの苗を植えるぞー

37. 積み立て旅行静岡 浜名湖でキメッ！！
38. 玉ねぎ干し作業をがんばる宮脇さん
39. 蒸しパンをつくりました！
40. 長良号でお楽しみの外出♪





2025年6月よりいぶき福祉会の理事長に就任致しました岡本浩明です。
皆様いかがお過ごしでしょうか。
いぶきは、2025年度も充実した活動を行うことができました。これも、皆様から、いぶきの活動にご理解いただき、たくさんのご支援をいただいたおかげです。本
当にありがとうございました。
さて、日本国憲法25条は、1項において、「すべて国民は、健康で文化的な最低
限度の生活を営む権利を有する。」として、生存権を保障しています。「最低限
度」というのは、生きてさえいればそれでよい、ということでは全くありません。憲
法25条1項が保障しているのは、あくまでも「健康で文化的な」最低限度の生活
です。そして、2項で、「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及
び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。」として、社会福祉等を向
上し増進して生存権を具体化するよう、国に努力する義務を課しています。「健康
で文化的な最低限度の生活」を保障すればそれでお終いということではなく、国
は常に「健康で文化的な最低限度の生活」を引き上げていかなければならない
義務を負っているということだと理解しています。
いぶきの基本理念は、日本国憲法25条によっても根拠づけられています。この
基本理念の下、これからもいぶきの運営に関わってまいります。
これからもどうぞよろしくお願いいたします。



理事長 岡本浩明

2026年7月吉日

事業所マップ



事業内容

障害福祉サービス事業

利用者数：通所149名・グループホーム49名

(2026年4月現在)		
就労継続支援B型	1カ所	定員20名
生活介護	7カ所	定員140名
共同生活援助	4カ所	定員49名
計画相談支援	1カ所	
短期入所	2カ所	定員6名
居宅介護	1カ所	



基本理念

私たちいぶき福祉会は、どんな障害のある人も、
生き生きと暮らすことができる地域社会をめざし、
障害のある方自身とその家族、職員、地域の
人々が力を合わせて活動してきました。
重い障害があっても、希望と誇りをもって穏やか
に暮らせる地域づくりは、誰にとっても安心して暮
らすことができる社会につながります。私たちは、
一人ひとりがかけがえのない存在として当たり前
に生きる権利と尊厳を守り、歩んでいきます。

Vision

私たちがかなえたいこと
ケアを文化に

Mission

私たちがとりくむこと
わたしたちは、「仲間」とともに、
未来を語り、お互いにケアしあい、
協働する社会をつくります

Philosophy

私たちの行動指針

- 権利：障害者権利条約の観点をふまえ行動すること
- 仲間：仲間の願いを大切にすること
- ケアと協働：おたがいさまの関係を尊重すること
 - 寛容さを忘れないこと
 - 声なき声に耳をかたむけること
 - ことばと対話を大切にすること
 - 多様な人との関係づくりを楽しむこと
 - 社会の幸せを考え、働きかけつづけること
 - 心躍る瞬間を大切にすること
 - 学びつづけ、学びあうこと
 - 失敗をみんなの糧にすること
 - 信頼し、創造しつづけること

声を届ける楽しさと、 広がる気持ち



私たちがケアと音声メディアの可能性に心を動かされたのは、コロナ禍が収束の気配を見せ始めた2023年のことでした。3月に開催した「ケアする人のケアセミナーin岐阜」で、IAMAS(岐阜県情報科学芸術大学院大学)の金山智子さんがご紹介くださったのが、東日本大震災の被災地で取り組まれた「ケアするラジオ」でした。私たちのラジオは単なる発信手段ではありません。声や息遣いや、音や間(ま)を通じて、人やできごとを時空を超えてゆるやかにつなぎ、温かく関係をはぐくむ場のようなもの。日常をさえぎらず、いっしょに「いる」ことだってできます。私たちのいぶき(息吹き)が、時空をこえて誰かに寄り添い、心を躍らせることができれば、これほど嬉しいことはありません。

夢がつながったラジオ出演

2025年4月、地域の企業と福祉団体が協働し、商品やサービスの売上の一部を地域の課題解決に寄付する取り組み「ぎふハッピーハッピープロジェクト」の活動報告会の会場で、ラジオ番組を放送しました。福祉団体の取り組みや、関係する企業の思いなどを聞いてみようという企画です。ぎふメディアコスモスのドキドキテラスに作られた、収録ブースでいぶきの仲間が生出演することができました。



ぎふハッピーハッピープロジェクトの活動報告会で行った「ハッピーハッピーラジオ」の様子

はじめてのスタジオで

出演したのは、「ラジオに出演してみたい」「アナウンサーのように自分の言葉で話してみたい」という思いを長い間持ち続けていた岩城さん。その思いを知っていたからこそ、出演のお話をいただいたときには、岩城さんの長年の夢が叶う時が来たと、嬉しくて仕方ありませんでした。当日は柴さんにもお願いして私を含め3人で参加しました。



ギャラリーも見守る中、楽しむことができました

浅野 由起

はじめてのスタジオということもあり、収録開始直後は全員が緊張し、言葉も少し硬くなってしまいう場面がありました。しかし、徐々に場の空気に慣れ、好きなことや日常の話題を話すなかで自然と笑顔が増えていきました。収録が進むにつれて、飾らない会話が少しずつ戻ってきて、普段のやり取りに近い雰囲気になっていきました。それぞれの個性も自然に表れ、肩の力が抜けたあたたかな時間となりました。無理につくるものではなく、日常の言葉がそのまま届くような収録でした。帰り道、岩城さんと柴さんの表情には達成感と安心感があり、とても満足そうな様子が印象的でした。その姿をみて、今回の経験が本人にとって大切な思い出となり、自信につながる時間になったことを実感しました。私もその瞬間に立ち会えたことを心からうれしく感じました。この経験は、収録という枠を超え、人と人とのつながりや言葉の温度を改めて感じる機会にもなりました。



かりんとうを製造しているメンバーも楽しく出演

音源を通した仲間の反応

その後こらぼの仲間とラジオの音源を聞くことになりましたが、私には映像ではなく音や声だけでこらぼの仲間が楽しめるのかという不安がありました。淡々と会話だけが流れる空間で仲間たちは楽しめるのか、眠ってしまうのではないかと心配していましたが、実際は全く逆でした。声のする方に耳を傾け真剣にじっと聞いたり、時々笑ったり。仲間たちは見て楽しむだけでなく、言葉や会話、音だけでも楽しむことができ、もしかしたら状況を想像できているのではないかと感じるほどでした。そして、何人かの仲間が「自分もやりたい」と伝える側に興味を持つきっかけとなりました。

いぶきのラジオ番組スタート

ちょうど同じ時期に、いぶき内でもラジオの定例化の企画が持ち上がり、仲間と一緒に番組を作る「ハッピーすまいるラジオ」がスタートしました。初回は職員魂なのか、仲間の素敵な様子を聞いてほしくて私は仲間の声を引き出そうと必死でした。しかし、私の思いとは反対に緊張で固まってしまった仲間たち…楽しい時間とはなりませんでした。



自分の思いを伝えています！

どうしたらもっと仲間の声を引き出せるだろう、素敵な姿を見せることができるのだろう、それが私の課題になりました。そんな時、「ケアするラジオ講座」でアサダワタルさんのお話を聞く機会がありました。その中で「ラジオは場」上手くやることが目標ではない、聞く側だけでなく作る側が楽しむ場を作ることから始めればよいと教えていただきました。私がかんばろうとすればするほど仲間はその雰囲気を感じて緊張していたのだと考え、「普段の私たちの会話」それでいいと肩の力を抜いて取り組むようにしました。回数を重ねるごとにどの仲間も自分らしさを出せるようになってきたと感じています。私自身も次第に仲間と一緒に一つのものを作り上げるこ



緊張の初出演！

が楽しくなり、次はどんな話をしようかと自然と考えるようになってきました。



ハピラジ収録中！クローバーの会長の石原さんに注目が集まっています

現在の取り組みとこれから

最近の収録では、マイクを前にしても緊張より「早く話したい」という仲間が増えてきています。「今日は何を話そうかな」と自分から考えていたり、こちらが促さなくても自然に言葉が出てきたりする場面があります。散歩の途中にふらっと立ち寄って「ちょっとやってみたいな」と飛び入りで参加する人もいて、日常の延長のような自然な流れでラジオに関わっています。



ZOOMで参加している風景 仲間の声にじっと耳を傾けます

また、会場と部屋をZOOMでつなぎ、オンラインで参加している仲間たちも、画面越しにニコニコうなずいたり、自分も一言届けたいと参加することもあります。収録が終わると「もう終わり？」「またやりたい」と笑顔で話す声もあり、それぞれがラジオの時間を楽しんでいるのが伝わってきます。

これからも、ラジオという場と一緒に楽しみ、仲間自身が誰かに自分の話を届けたいと思えるように、一緒に作り上げていきたいです。

大学生と
ジョイン♪

メディアを活用した 地域コミュニティ創造プロジェクト

2023年度から始まった日本福祉大学とのインターンシップ企画「メディアを活用した地域コミュニティ創造プロジェクト」。今年も4名の学生が参加しました。福祉学部にとどまらないのがユニークなところ。プログラムは、いぶきで収録した日常の音から番組を制作し、配信(ポッドキャストにて)するもの。収録も編集も、なにより事業所で過ごすことも初めての学生さんたちでしたが、大活躍でした。



にっこりえんがわマルシェにてカブトムシ体験をお手伝い

まずは7月26日のにっこりえんがわマルシェで事前学習、9月1日・2日に第二いぶきで散歩、草木染の作業や車で外出など、マイク片手に仲間たちとすごしました。高感度のマイクには日常のあらゆる音だけでなく、仲間とのおしゃべりやなにげない息遣いなども流れこんでいきます。ともに過ごす営みすべてがかけがえのない対話の場となっていたのだと思います。



仲間とおしゃべりしています



楽しく報告会の準備をしています

9月11日には、完成した番組のお披露目と活動報告会を開催。みんなで聞きながら、自分の声に不思議そうな表情を浮かべたり、思わず「あっ、〇〇さんじゃない？」と顔を見合わせて笑い出したり。耳を傾けることでどんどん想像力が豊かになって、普段は意識していない音や気配にも気づいてとても新鮮でした。緊張していた学生たちもほっとしていました。



いろどりのみんなと写真撮影

最後に、インターンシップの学生の感想を。
「たった4日間だったけど、迎え入れてもらったのが本当に嬉しくて。私たちはいぶきのあたたかみを表現できたかな」「いろんな人に知ってほしい」「この経験を活かしていきたい」

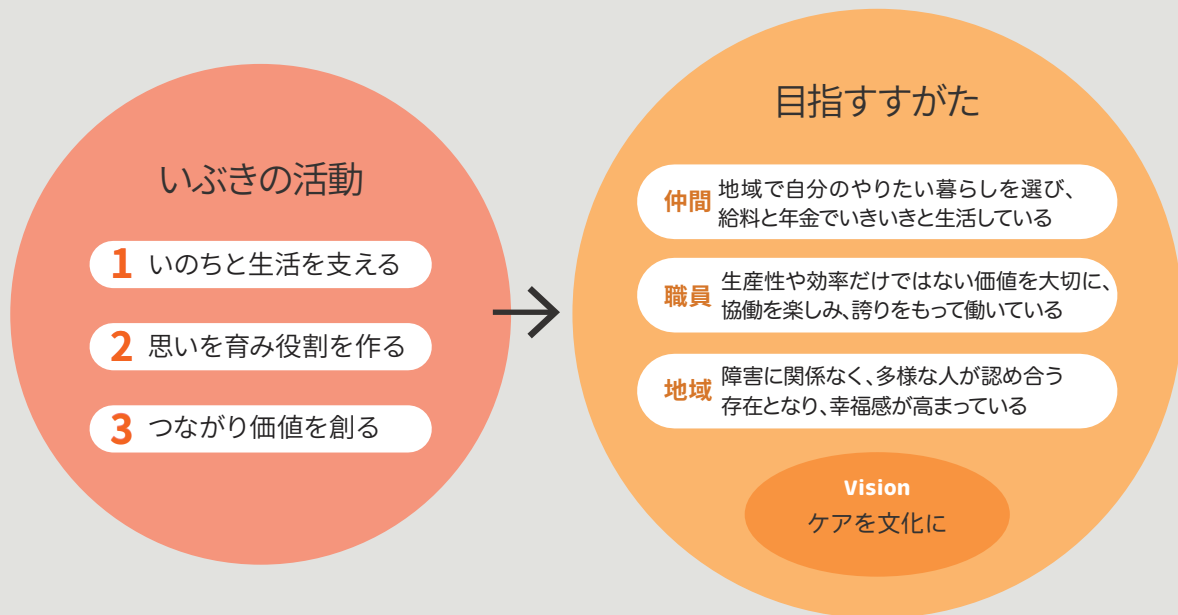
寄り添うメディアは、これからもここに集うすべての人たちの背中をゆっくり温かく押し続けてくれるはずです。

プロジェクトの
アーカイブは
こちら→



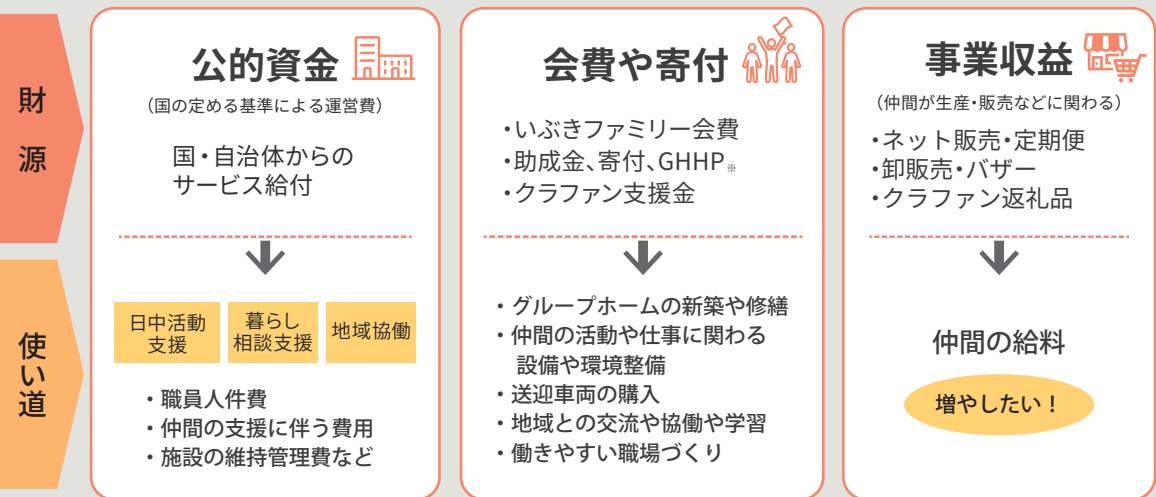
活動方針と 目指すすがた

いぶきは150人の仲間の活動と暮らしの場です。ここに集う人たちの営みは、枠組みを超えて人と人を結び、共感と協働を生みつつづけています。私たちはこれからの社会に欠かせないソーシャルキャピタルを醸成し、安心と信頼のモデルをつくっていきます。



活動を支える お金

社会福祉法人の基本的な運営費は公的財源でまかなわれます。しかし、私たちの目指すものを実現するには、十分ではありません。寄付や会費によって、多額の資金が必要な施設や備品、車両などが整備でき、運営費は仲間の活動や職員体制の充実にあてることができます。また、運営費は仲間の給料財源にはできません。そのため、仲間に関わる事業をより魅力あるものにし、仲間の給料を増やせるよう努力を重ねています。



※GHHP(ぎふハッピーハッピープロジェクト):社会貢献に取り組みたい企業や団体と、地域の課題解決に取り組む福祉団体が協力して寄付つきプロジェクトを開発し、売り上げの一部が寄付される取り組み



いのちと生活を支える

- グループホーム ● ショートステイ ● ホームヘルプ ● 相談支援

おいしい空気を胸いっぱい吸い込んだり、楽しくおしゃべりしたり、好きなところでかかしてみたりすることが、自分だけでは難しい仲間たちもいます。だからこそ私たちは、一人ひとりのねがいに丁寧に寄り添いながら、安心できる居場所や支えてくれる人がいる暮らしをとともに作ります。



相談支援学習会



講演会「いのちの理由」開催



グループホームの小旅行

トピックス

- ケアリングカフェ開催(4回)
- 第3回ハッピーすまいるフェスティバル
- 親なきあと学習会&ワークショップ
- 障害者権利条約学習会
- 寺澤大祐さん「いのちの理由」講演会
- 県障害福祉課、市障がい福祉課との懇談

こんな1年でした

一人ひとりの「生活の質」に寄り添い、丁寧な対話を重ねることを大切にしました。防災活動と地域交流を融合させた「ハッピーすまいるフェスティバル」では、非常時だけでなく、普段から助け合える関係を再確認することができました。また、亡くなられた仲間を偲ぶ会や「親なきあと」の学習会を通じ、高齢化が進む中でいのちと生活をどう受け止め、支え合っていくか。地域の方々と共に深く見つめ、一歩ずつ歩みを進めました。

なかまの すがた

悔いの残らない支援を 目指して

伊藤慎悟

服部和郎さんは、2025年10月14日に77歳で逝去されました。だいふくホームでは、お父さんやお兄さんのような存在として親しまれていました。五木ひろしさんの大ファンで、10年前には、ひとりでコンサートへ出掛けるほど行動的でした。近年はリウマチの進行により身体機能が低下し、外出への意欲も薄れていました。そんな服部さんに何かできることはないのかと思案した際、「海が見える場所で美味しい食事がしたい」「旅行に行きたい」という以前の言葉を思い出し旅行を計画しました。当初は、自身の身体を理由に消極的でし



えびせんの里、げんきにポーズ



旅の仲間と記念写真

たが、車椅子を活用した無理のない旅程を提案すると、次第に期待を膨らませ、参加を決意されました。旅館での夕食時、涙を浮かべながら「感動した。ありがとう」と感謝の言葉を伝えて下さいました。その姿から、半ば諦めていた旅行が大きな喜びとなっていることを実感しました。私たちは、これまで何度も仲間との別れを経験してきました。そのたびに「今できることを全力で」という思いを強くしています。今回も旅行を実現する方法を考え続けました。これからも一人ひとりの思いに寄り添い、「悔いの残らない支援」を大切にしていきたいです。

思いを育み、役割を作る

● 生活介護 ● 就労継続支援B型

工房でモノづくりをしたり、楽しく表現したり、畑仕事や販売まで、ここにはいろんな活動があります。役割があり、ともに取り組む仲間がいて、安心して自分の気持ちを出せる居場所があります。社会の一員としての誇りを感じ、障害年金と合わせれば暮らしていけるだけの給料の実現も目指します。



紙すきの仕上げの作業中



音楽療法のひととき



商品の納品にきました

トピックス

- ふるさと納税型クラウドファンディング：まちなか「えんがわベンチ」プロジェクト
- 岐阜の小さな隣人祭り
- ジャム&ジャズパーティー
- バザー出店（市役所、県庁、刃物まつりなど）
- ハッピーすまいるラジオ
- NHKハートネットTV特集
- 菊川「夏の百」コラボレーション

こんな1年でした

仲間が社会の中で「かけがえのない存在」として、自分らしい役割を持つことを大切にしてきました。NHKにて、私たちの「生産性や効率だけではない働きの価値」が紹介されたことは、社会へ思いを届ける大きな一歩となりました。世界マーマレードアワードでの4年連続金賞や、リサイクルセンターでの受託業務など、仲間たちの豊かな表現や日々の仕事が、社会のあちこちで豊かな「結び目」となっています。

なかまの
すがた

商品が誇り、 幸せを運ぶ猫でありたい。

樋口 百合子

工房ゆめひろではかりんとうと猫ちゃん（招き猫マドレーヌ）を作っています。最近石の外壁みたいな黒糖を砕いたりする仕事もしています。私は通称ガジガジ隊の仕事と言っています。お客さんがきたときは猫マドレーヌとかりんとうの見本を見せて「猫は8匹います。ブルーベリーはブルーベリージャムが入っていて、トマトはオレンジとアップルとジャムを混ぜたジャムが入っています。」と商品の説明をします。いぶきの商品のことをもっと知ってほしいから、話していま



仲間自治会選挙ポスター



工房メンバーと

す。お客さんにはよく「大変なところはどこですか？」と聞かれます。「(ねこちゃんの)耳が取れちゃったり、鈴がみえなかったり、穴が空いちゃったりすると、商品にならないから大変」だとお答えします。商品のことを説明してお客さんと話すのは楽しいです。これからも続けます。自分とこの商品を誇りに思っていますし、私たちはお客様の幸せを作りたい、幸せを運ぶ猫でありたいと思っています。

いぶきの活動 3



つながり、価値を創る

● いぶきファミリー ● にっこりえんがわマルシェ ● 各種プロジェクト

いぶきは新しいモノやコトや場を次々と生み出しています。そこは人と人が出会う場所でもあります。障害のあるなしにかかわらず、新しい協働が生まれ、ただ楽しくてもっとつながりたいと思える場です。多様な役割を担いあえる多様な人の集まりはとても寛容で、新しい価値はそんな場所から生まれます。



いぶきの商品を販売してくださっているきみってさんと



見学者に、自分たちの仕事の説明をしています



マルシェで、地域の子どもに草木染を体験してもらいました

トピックス

- にっこりえんがわマルシェ（月1回）
- ぎふハッピーハッピープロジェクト実施
- こよみのよぶね参加
- ねんりんピック岐阜2025に岐阜女子大と協働参加
- チャリティーサンタ
- わたぼうしキャラバン演奏会
- マーマレード金賞受賞報告会
- ケアするラジオ講座
- いぶきコミュニティガーデン

こんな1年でした

拠点「ほとり」では、毎月のマルシェに加え、新たに「こども応援チケット」の試みを広げました。地域の子どもたちや市民が自然に集い、多世代が日常的にふれあう風景が定着しつつあります。また、「えんがわベンチプロジェクト」のクラウドファンディングでは、多くの方から温かなご支援をいただきました。SNSやメディアサイトを通じた発信も、単なる情報共有を超え、いぶきの日常が社会の価値として認められる確かな手応えを感じました。

なかまの
すがた

一緒に学び、一緒に感じる 子どもたちとの時間

浅野 裕美

2025年より三輪北小学校2年生を対象に、「障害を理由とする偏見や差別をなくそう」をテーマにした学習会を行っています。アトリエほっぺの仲間と共に学校を訪れ、日々の活動や仕事の様子を紹介しました。ジャムづくりでは、それぞれが役割を持ち、地域でいきいきと働く姿を伝えました。講師として参加した西部朝香さんは、〇×クイズやジャムのタグ付け体験を担当。子どもたちがクイズに一生懸命取り組む姿や、タグ付けに挑戦する様子を見ながら、一緒に学習会を進めました。

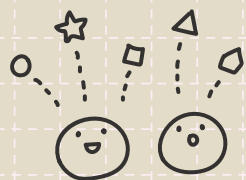


いぶきの紹介をしています



いちごジャムの食べ比べ

西部さんは「子どもたちと一緒にクイズをしたり、タグ付けをしたりできてうれしかった」と話し、学校での交流は貴重な経験となったようです。後日、小学生からは「全部手作業で作っていることにびっくりした」「タグのゴム通しが難しかった」「ジャムがおいしかった」といった感想のほか、「会ってみたい仲間だなと思った」といった声も寄せられました。今後も、誰もが地域で自然に支え合いながら暮らせる社会づくりにつなげていきたいと思っています。



新たなつながりと、育んだプロジェクト

たくさんの対話が生まれ、私たちや地域を支える大きな力となっています。



4月

ぎふハッピー ハッピーウィーク

ぎふメディアコスモスにて活動報告会や、講演会、パネル展示、ワークショップ、マルシェ、ラジオ公開収録などを通じ、30を超える企業と福祉の連携を可視化。福祉が一時的な支援対象ではなく、街の活力を生むパートナーであることを発信する機会となりました。「ありがとう」の循環を体感する6日間でした。



6月

ダルメイン Worldマーマレード アワード金賞受賞

りすのほっぺが、世界マーマレードアワード&フェスティバル日本大会において4年連続プロ部門入賞。全国から多くの力作が集まる中で、の継続受賞は高く評価されました。仲間や職員の取り組みの積み重ねが実を結んだものです。受賞を記念し、柴橋市長をはじめ関係者を招き、受賞報告会を開催しました。



7月

協働プロジェクト 夏の百×アートバッグ

選書サービス菊川の市川由加里さんの選書企画「夏の百」。本と一緒に届られる袋をいぶきが担当しました。「こむぎ粉袋アートバッグ」は、かりんとうや招き猫マドレーヌに使われるたくさんの小麦粉の袋を活用して、仲間たちが思い思いに絵を描きます。100名の方に素敵な本とともに唯一無二の袋が届きました。



8月

ヒトネ×いぶき ヒトネなまつり

一般社団法人ヒトネさんと協働し、日光町の家でなまつりを開催。学童保育の子どもたちが、いぶきの仲間や建築家の平野勝雅さんと協力して店を企画・運営。仲間との交流を通じ、働くことの意味や共生社会を楽しく学びました。50名ほどが来場し、子どもたちの工夫溢れる接客に笑顔が広がりました。



10月

岐阜短×いぶき福祉会 ねんりんピック

岐阜女子短期大学と協働で、ねんりんピック岐阜2025の選手向け補給食「枝豆ボール」を開発しました。試行錯誤を重ねパッケージまで学生と制作。大会では選手から「おいしい、販売してほしい」と大好評でした。大学生の感性といぶきのものづくり、福祉の枠を超えた温かい交流の機会となりました。



1~3月

CO・OP共済 地域支えあい助成 岐阜の小さな隣人まつり

いぶき福祉会の事業所4拠点にて、食を通じて地域の方との交流を図る「隣人まつり」を開催しました。豚汁づくりや弁当の盛り付けレクチャー、プロから教わるハンドドリップなどを体験。共に作り、一緒に食べる時間を通じて、お互いを名前と呼び合えるような「顔の見える」安心感が地域の中に広がることを目指しています。



2月

えんがわベンチ プロジェクト始動

ふるさと納税型クラウドファンディングを通じ、「えんがわベンチプロジェクト」への支援を募りました。誰もが気軽に腰かけ、語り合えるベンチを街に設置し、孤独孤立のないしなやかな街づくりを目指します。気軽に一休みし、ふとした会話や交流が生まれる場所を増やすことで、街の居心地の良さを向上させる取り組みです。



2月~

ほとり こども応援チケット

ショップ「ほとり」にて、大人がチケットを購入し子どもにおやつを贈る「こども応援チケット」を導入しました。おやつを無料でもらえるチケットデーを初開催。当日は親子での参加も多く、子どもたちがお団子やおやきを食べ、お礼のメッセージを書きました。チケットを介して、大人の「応援したい」と子どもの「おいしい」が結びつき、心の交流が生まれています。

partner's
パートナーズボイス
VOICE

いぶきとともに、
歩んでくださる方々に
思いを語っていただきます。

No.005

りすのほっぺ
アンバサダー

粥川 なつ紀 さん

サクソ奏者、作曲家、パーソナリティーとして国内外で活躍する岐阜市出身の粥川なつ紀さん。「りすのほっぺ」アンバサダーに就任いただいた2015年1月から、誰よりもジャムと仲間たちを愛し、ともに歩んでくださいました。この10年は、おいしく、楽しく、笑顔あふれる時間の連続です。「ジャム&ジャズパーティー」では、りすのほっぺジャムとなつ紀さんの音楽が織りなす特別なひとときを、これまで6回にわたり多くの皆さまにお届けしています。(初瀬尾久美子)



見えない堀を溶かしていく、甘くて優しいジャムの魔法



2012年、第二いぶきにて
自由に楽しむ仲間たち

りすのほっぺとの出会いは14年前。第二いぶきでのクリスマス演奏にお邪魔した帰り、お土産に持たせてくれたキウイジャムパイでした。それはそれは美味しくて、コロンとほっぺが落ちるほどで、一気にりすのほっぺの大ファンになりました。

その日のコンサートでは、仲間のみんなが所狭しと踊ったり、車椅子から落ちそうなほど盛り上げてくれたことも、忘れられない思い出です。大ファンが高じてアンバサダーのお話をいただいた際に印象的だったのが、「商品より仲間をプロモーションしたい」ということ。こんなに美味しくて商品だけで十分に幸せを届けられる実力があるのに、あえてその形を選ぶ理由が不思議だったのをよく覚えています。でも今ならわかる、それは、りすのほっぺからの「社会の前提への新提案」だったんだと。



2017年ジャム&ジャズコンサートにて、新作ジャムをPR

アンバサダーとしてメディアやイベントなど様々な場面で仲間を紹介する中で、じわじわと知ることになったのが、「社会の見えない堀は、港区の高層ビル群並みだぞ」ということでした。幼い頃から身近に本当に色々

な「ひと」がいたことで世の中を斜めから俯瞰していた子ども時代のわたしは、一般論や偏見でカテゴライズしない強さと大人社会への反抗心を持つ、ちょっと手間のかかる子どもでした。けれど、その環境によって「それぞれの存在を当たり前を感じる感性」が自然と育まれていました。そして、昨年行われた社会福祉法人いぶき福祉会創立30周年記念で掲げられていた「ケアを文化に」というビジョンを自分の中で掘り下げた時、この“私の中の常識”はまさにりすのほっぺの新提案であり、これから子どもたちに必要なものだとも強く感じました。

りすのほっぺのジャム作りスタートから15年。700種類を超えるジャムを作り、今や世界に通用するクオリティに仕上げる仲間がいます。そして、「ほとり」という名の、全ての人に開かれた安全基地のような発信地には大人も子どもも集い、世界レベルのジャムをいつでも手に取ることができます。時代が仲間を追いついてきた感があるこの何年か。それは、「ダルメイン世界マーマレードアワード」での4年連続金銀銅賞トリプル受賞という快挙が証明してくれています。さて、りすのほっぺの仲間と5年後はどこにようか、何してようか。10年前よりちょっと大人になってダンスも控えめになった仲間を頼もしく思いながら、顕微鏡と望遠鏡で遠くに近くにどんどん進もう！



2023年のコンサート最後に、仲間と一緒にご挨拶



数字で見るいぶき

2025年度のいぶきの活動を象徴する数字を集めました。



オリジナル商品の数
53品
(昨年度:51品)



仲間の平均給料
(月額)
15,346円
(昨年度:15,427円)



商品の売上金額
(法人全体)
40,922千円
(昨年度:41,071千円)



寄付金額
(法人全体)
12,287千円
(昨年度:12,479千円)



ファミリー会員数
761人
(昨年度:765人)



仕事の
パートナー数
82
(昨年度:86)



メルマガ
登録者数
3,201人
(昨年度:2,921人)



2025年度財務報告

2025年4月1日から2026年3月31日まで

(単位:円)

勘定科目			社会福祉事業			P8の「活動を支えるお金」の項目
			当年度決算	前年度決算	増減	
サービス活動増減の部	収益	就労支援事業収益	40,922,060	41,071,860	▲ 149,800	事業収益 (仲間が生産などに関わる)
		障害福祉サービス等事業収益	772,439,536	725,404,474	47,035,062	公的資金
		補助金事業収益	10,635,540	8,430,360	2,205,180	公的資金＋事業収益 (仲間が生産などに関わる)
		受託事業収益	10,812,036	10,812,036	0	
		その他の事業収益	0	2,956,980	▲ 2,956,980	寄付や会費
		経常経費寄附金収益	12,287,150	12,479,123	▲ 191,973	
		サービス活動収益計	847,096,322	801,154,833	45,941,489	
	費用	人件費	619,511,260	587,490,465	32,020,795	職員の人件費支出
		事業費	92,440,157	90,956,948	1,483,209	障害福祉サービス活動等の支出
		事務費	88,709,810	82,687,337	6,022,473	
		就労支援事業費用	43,337,469	42,043,270	1,294,199	仲間の給料などの事業支出
		減価償却費	31,767,244	31,574,350	192,894	固定資産の減価償却費
		国庫補助金等特別積立金取崩額	▲ 13,631,585	▲ 13,375,586	▲ 255,999	国庫補助金の減価償却費
		サービス活動費用計	862,134,355	821,376,784	40,757,571	
	サービス活動増減差額		▲ 15,038,033	▲ 20,221,951	5,183,918	

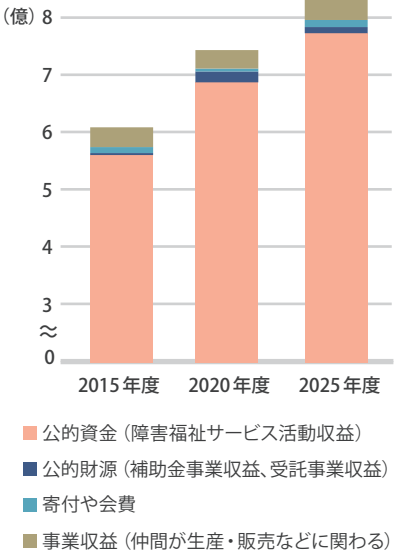
収益(収入)

就労支援事業収益 (商品などの売上額)	お茶や野菜の売上が伸びました。アートバッグの受注販売も実施。かりんとうも堅調です。お店「ほとり」の売り上げはパーラー(テイクアウト)も含め、アップしました。
障害福祉サービス等 事業収益	日中活動の年間開所日数を254日から266日へ、12日間増やして収入基盤を確保しました。一方、体調不良で長期利用できない仲間も想定以上にあり、2024年度と比較して利用率が下回る拠点が複数生じました。
補助金事業収益、 受託事業収益	光熱費等の物価高騰対策、人材育成・職場環境改善等の補助金など。リサイクルセンターの委託事業も含まれます。重心いきがい創出支援事業は、2025年度で終了となりました。
その他の事業収益	2025年度に支援募集したガバメントクラウドファンディング「えんがわベンチ」プロジェクトの資金の受領は2026年度になります。
経常経費寄附金収益	いぶきファミリー会費、ぎふハッピーハッピープロジェクト登録団体様からの継続寄付です。活動や建物修繕などに活用しました。会員の継続更新が課題となっています。

費用(支出)

人件費	人件費比率(人件費/サービス活動収益計)は70.9%。国の処遇改善加算を利用して基本給の上乗せや、最低賃金改定に対応し、定時職員の時給を上げました。
事業費・事務費	食材料の高騰で給食費が増えました。また建物の修繕や空調の更新もあり修繕費も増えています。
就労支援事業費用	仲間の平均給料は月額15,346円。2024年度より▲81円の減額。仲間給料のベースアップはできませんでした。
サービス活動 増減差額	減価償却費を含めた増減差額です。2025年度もマイナスになりましたが、これまでの繰越額で法人の財政を維持できています。

財源の推移(活動を支えるお金)



事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。又、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当法人の財産及び損益の状況をすべて重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2026年5月22日 監事:竹地 裕司 監事:早野 幸広

※貸借対照表・資金収支計算書・財産目録は、紙面の都合により省略されておりますが、当法人WEBサイトに開示しております。
<https://ibuki-komado.com/about>





2026年度の取り組み

本年度も「どんな障害のある方も生き生きと暮らしていける地域社会の実現」を目指し、仲間の願いに基づいた日々の丁寧な実践と、地域をとともに作り上げる人々との協働をすすめ「ケアを文化」にすることを実現していきます。

いのちと生活を支える

1



仲間の高齢化や重度化が進む今、一人ひとりの暮らしに丁寧に向き合います。対話を重ねて信頼関係を築き、地域の中で誰もが豊かに暮らせるよう取り組んでいきます。

地域の中で24時間安心して暮らせる場を保障します。特にグループホームでは土日の支援体制を充実させ、見守りだけでなく、好きなことをして楽しく過ごせる「余暇の充実」にも力を入れ、豊かな暮らしを整えます。

将来も自分らしく暮らせるよう意思決定をサポートします。家族の想いをつなぐ「親心の記録」の作成やそのデジタル化、学習会などを通じ、一歩ずつ将来への備えを広げていきます。

災害に備え、マニュアル整備だけでなく地域の方々と防災を学ぶ機会を作ります。施設が地域の防災拠点であることを知ってもらう「ハッピーすまいるフェスティバル」も継続し、街の安全とつながりを深めます。

つながり価値を創る

3



事業所を街に開かれたみんなの共有財産（コモンズ）にしていきます。地域の方、職員、仲間たちが日常の中で自然に名前を呼び合えるような、お互いさまの温かい「つながりの網の目」を街いっぱい広げます。

クラウドファンディングでご支援いただいた「えんがわベンチプロジェクト」を実施します。街に誰もが休める場（ベンチ）を増やす活動を展開します。ワークショップや学習会を通じて地域の方々との出会い、ゆるやかなつながりを育みます。

マルシェや「隣人まつり」など、地域の方が気軽に参加できるプロジェクトを継続します。地元のような多様な団体と手を携え、小さくても温かい関わりを重ねることで、お互いを認め合える豊かな地域社会を育てます。

思いを育み役割を作る

2



お菓子作りや草木染め、農業、アートなどを通じて一人ひとりが輝ける場を作っています。誰もが「かけがえのない存在」として役割を持ち、優しく豊かな働き方に挑戦します。

体調や年齢に合わせ仕事のあり方を見直します。生産に追われるのではなく、地域のお客さまとの関係を大切に受注生産へ移行。「tabita便」などの定期販売を通じ、無理なく楽しく働ける環境を整えます。

「生産性だけに追われない働き方」をさらに深めます。日々の実践力向上と温かい関係づくりを積み重ね、仲間が誇りを持って働けるよう支援しながら、大切な給料アップにも取り組みます。

岐阜市リサイクルセンターのペットボトル選別業務を継続します。社会や環境に貢献できるこの仕事は仲間にとって大切な役割です。確かな支援のもと、やりがいを持って笑顔で取り組める環境を支えます。

会報誌やウェブ、ラジオ、対話の場「ケアリング・カフェ」などでいぶきの魅力を発信します。大学とも連携してインターシップ等を行い、これからの優しい社会を共に作る仲間を増やしていきます。



いぶきを応援

障害のある人の活動を支えながら、つながりの深い社会づくりに参加しませんか？みなさまのご支援、ご協力をお願いします。



ご寄付 個人・団体

全額、障害福祉の現場で活用されます

◎団体・法人：1口10,000円
◎個人：1口1,000円

※口数をお選びいただけます。
ご寄付のお申込みは、直接受け取りや、振込みでもお受けしております。

商品のご購入 お得な商品もあります。



マンスリー会員 いぶきファミリー

月々定額の会費で、いぶきの活動を継続的に応援する仕組みです。

1口：250円・500円・1,000円
※口数をお選びいただけます。

郵便振替、銀行振込（年払い）もお受けしております。ご希望の方はご連絡ください。

楽しいおいしいで応援 定期購入『tabita便』

からだに優しい安心なお菓子やジャム、お茶などを詰め合わせてお届けします。

①定期便：1回2,000円
サイクル：1ヶ月～3ヶ月

②全2回：10,000円
お届け：6月・12月

お届け先の変更や、お好みの商品をリクエストいただくことも可能です。

ご不明な点などございましたらお気軽にご連絡ください。

TEL:058-233-7445 平日9:00～17:00

メール：ibuki.m@ibuki-komado.com

法人のみなさま

ぎふハッピーハッピープロジェクト

寄付つきプロジェクトで応援

売上げの一部が誰もが幸せを感じられる地域づくりに役立てられる「寄付つきプロジェクト」を一緒に考えてみませんか？社会貢献が貴社の商品やサービスの販売促進にもつながります。

※詳しくは、WEBサイトでご確認ください。



GHHPサイト

法人のみなさま

個人のみなさま

一緒に楽しんでください

- ①日々の活動の様子をSNSやホームページでご覧いただけます。いいねやシェアが励みになります。
- ②ネットショップ『えんがわマルシェ』にていぶきの商品を購入できます。
- ③一緒に商品開発をしたり、イベントを開催したり、できることを持ち寄って、ともに盛り上げていただけませんか？



法人サイト



えんがわマルシェ

「ほとり」開店2周年！

地域の子どもからお年寄りまで、ほっとできるお店です。お団子やかき氷など季節のおやつが人気です。ぜひ、お立ち寄りください。

○営業日：木曜日、金曜日、時々土曜日（SNSなどで発信）
○営業時間：11:00～17:00（テイクアウトは16:00まで）
○住所：〒502-0933 岐阜市日光町3丁目47-1
○ご予約やお問合せ先：058-233-7445（寺田・山本）



インスタで最新情報をチェック！



寄付・遺贈寄付を受け付けております

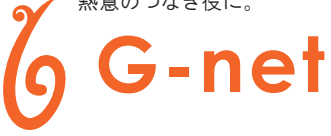
ご相談は、いぶき福祉会本部まで
TEL.058-233-7445

税額控除対象法人となりました

社会福祉法人いぶき福祉会は2023年3月16日に税額控除対象法人になりました。これにともない、いぶき福祉会へのご寄付（いぶきファミリー会費も寄付と同様の扱い）は、税制上の優遇措置として、所得控除と税額控除を選択できるようになります。なお、控除を受けるためには確定申告が必要です。所得などご本人の状況により異なりますので、詳しくは最寄りの税務署へお問い合わせください。



いぶきファミリー団体会員みなさま、
ぎふハッピーハッピープロジェクトパートナーみなさま (🍀)

 タノモット コープの電話サービス	人権尊重と非営利  社会福祉法人 みどり福祉会 〒501-3113 岐阜市北山1丁目15番25号 TEL:058-244-1210	有限会社 車屋商店 プロパンガス・ガス器具・米・灯油 TEL：058-229-1321
 伊佐地薬局 白菊 信条は「薬は必要最小限に」 有限会社メディカル・アシスト・アイ 〒502-0909 岐阜市白菊町2-28	 極東サービスエンジニアリング株式会社 代表取締役 清水 守 〒140-0002 東京都品川区東品川3丁目15-10 TEL.03-5781-9833	 株式会社 岐阜ガレーヂ 本 社：岐阜市京町2-12 TEL058-265-0301 第二工場：岐阜市黒野南1-84 TEL058-239-3541 https://ku-gu.com
 ホームページ制作・DTP・パソコン販売修理 株式会社 ワンステップ ☎ 058-214-8505 ✉ info@onestep65.com	長良川流域文化を未来につなげる  ●長良川デパート ●CASA stella ●長良川めぐる ツアーズ ●和傘CASA ●長良川てしごと町家 CASA ●ORGANキモノ	 SUNWASA 古紙の常識を変える 〒501-3155 岐阜県岐阜市岩田西 3-429 058-241-8077
未来の福祉社会の設計へ・・・ ICS は福祉システムを通じて、 広く社会に貢献したいと考えております。 株式会社 ICS アイシーエス姫路市ウエルフェア株式会社 《重度障がい者多数雇用モデル事業所》厚生労働省認定 TEL.079-235-0066 URL: https://www.ihw.co.jp	 消防用設備 災害備蓄品 株式会社 三陽商会 岐阜支店：岐阜市真砂町4-15 TEL：(058) 267-6556 FAX：(058) 267-6557	DUSKIN 喜びのタネをまこう 株式会社 ダスキン長良 TEL.058-232-4147
 杉山製作所 鉄家具 アイアン建材 コントラクト家具 店舗什器 501-3829 岐阜県関市旭ヶ丘3-13 www.kebin.jp	福祉を切り口とした 調査・計画づくり・出版など 株式会社エディケーション https://edication.jp	挑戦の伴走者に、 熱意のつなぎ役に。  https://gifist.net/
ライオン業務用代理店  有限会社 ハロー産業 〒501-1136 岐阜市黒野南3-153-1 TEL.058-234-0620 	 山本佐太郎商店	ORPHIS GL9730 A4サイズ 片面フルカラー 最速165枚/分 1.44円/枚  株式会社 ジブレン 本社・岐阜支店／〒500-8382 岐阜市藪田東2-8-13 TEL 058-273-5566 FAX 058-273-1564

 医療法人社団 登豊会 近石病院 岐阜市光町2丁目46番地 TEL：058-232-2111	 TOTAL CAR SERVICE G-TWO 有限会社 ジーツー 岐阜県関市武芸川町谷口1727-1 TEL.0575-46-3816	Smile Mi  愛知県名古屋市中区熱田区新尾頭三丁目4番25号 本社TEL.052-682-1603
悩まないでまず弁護士にご相談ください 弁護士法人 岐阜合同法律事務所 TEL058-264-3780 http://www.gifugodo.jp/	あるものはいかそう ないものはつくろう  建築・まちづくり・不動産で未来を楽しく miyukidesign inc.	建築企画・設計・監理 株式会社 エコプラン 代表取締役 林 直見 岐阜市鏡島精華2丁目4番15-101 TEL: 058-255-0345 E-mail: eco@ecoplan.co.jp URL: http://www.ecoplan.co.jp
 建築・設計・施工・リフォーム・不動産 株式会社 相宮工務店 〒500-8034 岐阜市本町2丁目17番地 TEL058-262-5505(代) FAX058-262-4184	生命保険・損害保険の代理店です  株式会社 MIMAMORU —ミマモル— TEL(058)215-9137 FAX(058)215-9138 Email: mimamoru@kir.biglobe.ne.jp	 弁護士法人 長良橋通り法律事務所 岐阜市神田町1-10-2小森ビル2F TEL.058-262-5644
 SUNWASA 古紙の常識を変える 〒501-3155 岐阜県岐阜市岩田西 3-429 058-241-8077	 Live Interior of Modern from Eternable Standard インテリアショップ ライムズ 大垣本店 モレラ店 美濃加茂店	 和模型工房 www.wamokei.com 〒500-8286 岐阜市西鶴3-65-1
地方の未来をおもしろくする  株式会社リーピー Web制作・生成AI活用・採用支援 https://leapy.jp	 創業天保六年(1835) 合資会社 白木恒助商店 TEL.058-229-1008	 未来を創造するための会計 藤垣会計事務所 税理士 藤垣 寿通 TEL (058) 215-1030
一新建設株式会社 災害時に避難所に行かなくてもいい家づくり  建築 施工 ISHIN 建築 設計 At Hearth	各種損害保険・生命保険代理店 有限会社 アイエイチプランニング 	HOUSEDO ハウストウ岐阜東島 株式会社グラホス 〒502-0913 岐阜市東島 2-14-6 TEL 058-201-3811
 株式会社尾州設備 〒494-0008 愛知県一宮市東五城字西大堀12番地1 TEL.090-4085-5426	 LIVING DESIGN https://www.live-ing.com/ 〒500-8007 岐阜市元浜町35-1 Tel . 058-262-2954	社会福祉法人いぶき福祉会 年次報告書 2025 《夢もっとひろがれ》 発行日 2026年7月 発行人 岡本浩明 編集責任者 北川雄史 制作 いぶきデザイン室 山本友美 協力 いぶきの仲間たち 社会福祉法人いぶき福祉会 〒502-0907 岐阜市島新町5番9号 TEL：058-233-7445